

# 2020年(令和2年)度 事業報告

第10期(2020年4月1日～2021年3月31日)

## (1)交響楽演奏会等の開催

### 1)主催公演 全16公演

#### ◆定期演奏会(第239回～第246回) (7公演開催、1公演中止)

ザ・シンフォニーホールにおいて開催している楽団の音楽的根幹となる演奏会。2020年度は、8プログラム8公演を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響により、第239回は年度内に延期して開催、第240回は完全に中止となりました。また、外国人の入国制限が続き、来日できなかった外国人指揮者・ソリストについては、日本人指揮者・ソリストに変更して開催となりました。

楽団創立40周年のメモリアルにあたる2020年度は、これまで楽団を導いてきた指揮者を招聘し、「創立40周年記念シリーズ」といたしました。創設指揮者であり、初代音楽監督の小泉ひろし、初代ミュージックアドバイザー大山平一郎、第三代音楽監督の曾我大介、現名誉指揮者であり、第二代ミュージック・アドバイザーの外山雄三、正指揮の太田弦の指揮による5公演は、かろうじて新型コロナウイルスの影響を受けず、予定通りに開催することができました。

ただ、開催した7回はいずれもコロナ禍において、入場者数が平均500名と平常時の1200名を大きく下回ってしまいました。

第239回 2020年 5月15日(金) 指揮:オーラ・ルードナー(緊急事態宣言発令中のため延期)

→ 2021年2月18日(木) 指揮者を矢崎彦太郎に変更して開催

第240回 2020年 6月11日(木) 指揮:ジェイソン・ライ ピアノ:菊池洋子 (公演中止)

第241回 2020年 7月16日(木) 指揮:小泉ひろし ソプラノ:周防彩子

第242回 2020年 8月28日(金) 指揮:ガブリエル・フェルツ ソプラノ:木澤佐江子

→ 指揮者を太田弦に変更して開催

第243回 2020年10月 8日(木) 指揮:外山雄三

第244回 2020年11月19日(木) 指揮:大山平一郎 ヴァイオリン:堀米ゆず子

第245回 2020年12月16日(水) 指揮:曾我大介 ピアノ:阪田知樹 ヴァイオリン:成田達輝

→チェロ 岡本侑也は、怪我のため佐藤晴真に変更して開催

第246回 2021年2月5日(金) 指揮:太田弦 ヴァイオリン:有希 マヌエラ・ヤンケ

→ヴァイオリンは、渡辺玲子に変更して開催

◆名曲コンサート(第111回～第115回) (8公演開催/2公演は翌年度に延期)

ザ・シンフォニーホールにおいて土日・祝日の午後と夕方、1日2回の公演で開催している、クラシック入門者に向けた名曲コンサート。コロナ禍において、単券のチケット販売・広報がほとんどできず、2019年5月から発売開始したセット券による入場者がほとんどとなりました。

5プログラム10公演のうち、2プログラム4公演が延期となり、うち1プログラム2公演は2021年度への延期となり、三度目の緊急事態宣言発令により、再延期となっています(再延期日程未定)。

正指揮者太田弦、客演指揮者の川瀬賢太郎、ピアノ協奏曲の弾き振りで菊池洋子の3プログラム6公演は予定どおり開催することができました。

第111回 2020年 5月 9日(土) 指揮:オーラ・ルードナー(緊急事態宣言発令中のため延期)

→ 2021年3月10日(水) 指揮者を田中祐子に変更して開催

第112回 2020年 8月 1日(土) 指揮:小林資典 ピアノ:田村響(50%入場制限のため延期)

→ 2021年4月28日(水)へ延期するも、三度目の緊急事態宣言発令のため再延期

第113回 2020年 9月26日(土) 指揮:太田弦 ピアノ:ゲルマン・キトキン

→ ピアノリストを岡田将に変更して開催

第114回 2020年10月31日(土) 指揮:川瀬賢太郎 ピアノ:林澄子 合唱:大阪響コーラス

第115回 2021年 1月10日(日) 指揮・ピアノ:菊池洋子

◆特別演奏会「感動の第九」(1公演開催)

毎年年末に開催している恒例の「第九」公演。指揮者に新進気鋭の石川星太郎を、ソリストには、関西を中心に活躍する若手ピアニストの安達萌を迎え、サン＝サーンスのピアノ協奏曲第5番「エジプト風」を取り上げました。また、ベートーヴェン 交響曲 第9番「合付き」のソリストには、関西二期会所属で第一線で活躍する四方典子、糀谷栄里子、小餅谷哲男、萩原寛明を迎え、「はばたけ堺！合唱団」と「感動の第九特別合唱団」の熱演により成功裏に終わりました。

2020年12月28日(月) 指揮:石川星太郎

ピアノ:安達萌 ソリスト:四方典子, 糀谷栄里子, 小餅谷哲男, 萩原寛明

合唱:はばたけ堺！合唱団, 大阪交響楽団感動の第九特別合唱団2020

## 2) 共催公演 ◆オーケストラ4公演、◇アンサンブル2公演

### ◆第58回 大阪国際フェスティバル2020 (1公演 延期開催)

フェスティバルホールにおいて朝日新聞文化財団と在阪4つのオーケストラ他との共催で「大阪4大オーケストラの4大シンフォニー」を開催。コロナ禍において当初の日程は延期となりましたが、2021年3月3日(水)に延期して開催されました。指揮は名誉指揮者の外山雄三。

大阪の4つのオーケストラが、ベートーヴェンの交響曲を1曲ずつ取り上げる祭典で、大阪交響楽団は第7番を演奏。通常であれば毎回売り切れる公演ですが、コロナ禍の影響をうけ8割ほどの入場者となりました。

2020年4月18日(土) 指揮:外山雄三 (緊急事態宣言発令中のため延期)

→ 2021年3月3日(水)へ延期して開催。

共催者:朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール

大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー協会、関西フィルハーモニー管弦楽団

日本センチュリー交響楽団

### ◆外山 雄三 ドヴォルザーク 8番&9番 (公演中止)

ザ・シンフォニーホールとの共催で開催する予定で企画。名誉指揮者外山雄三の89歳を記念して、ドヴォルザークの交響曲第8番と第9番「新世界より」を取り上げる予定の演奏会でしたが、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発令されたため、公演は中止となりました。

2020年5月21日(木) 指揮:外山雄三 (緊急事態宣言発令中のため中止)

共催者:公益社団法人 大阪交響楽団、ザ・シンフォニーホール

### ◆ライト・シンフォニックコンサート〜大人の贅沢 (1公演開催)

ザ・シンフォニーホールにおいて、松元宏康の指揮、川井郁子のヴァイオリンで1公演を開催。オーケストラは小さい編成ながら、ヴァイオリンの魅力を存分に伝えることができました。

2020年7月18日(土) 指揮:松元宏康 ヴァイオリン:川井郁子

共催者:ザ・シンフォニーホール、公益社団法人 大阪交響楽団

### ◆Teatro Trinitario 2020“バレエ×オペラ×オーケストラ” (1公演開催)

堺シティオペラ一般社団法人、野間バレエ団、堺市民芸術文化ホールフェニーチェ堺との共催で開催。堺市に本拠地をおく3つの舞台芸術団体が手を取り合って一つの舞台を作り上げる“Teatro Trinitario (三位一体劇場)”。

柴田真郁の指揮で“ボレロ・フェニーチェ (野間バレエ団)、歌劇「カルメン」(堺シティオペラ他)を取り上げた。コロナ禍において、バレエ・声楽・合唱・オーケストラと150名近い実演家が舞台に乗るということもあり、徹底的な感染予防を行い開催することができました。

2020年9月22日(火・祝) 指揮:柴田真郁

共催者:堺シティオペラ一般社団法人、野間バレエ団、公益社団法人 大阪交響楽団、フェニーチェ堺

#### ◆フェニーチェ堺 「銀河鉄道999」シネマ・コンサート (1公演開催)

2019年10月にグランドオープンした「堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺」において、日本ノボパン工業株式会社の共催を得て公益財団法人 堺市文化振興財団との三者共催での開催となった「銀河鉄道999 シネマ・コンサート」公演。2019年12月にこけら落とし公演で開催した「バーンスタイン'S スペシャル・セレクション」の第2弾の位置づけとして企画しました。二度目の緊急事態宣言発令もあり、チケットは途中で売り止めとしましたが8割を超える販売で、客席はほぼ満席となりました。

2021年 2月11日(木・祝) 指揮:栗田博文

共催者:日本ノボパン工業株式会社、公益財団法人 堺市文化振興財団

公益社団法人 大阪交響楽団

#### ◇フェニーチェ堺 “音楽のあるひととき” (2公演開催)

2021年1月からスタートした、大阪交響楽団メンバーによる小編成アンサンブルシリーズ。徹底的な感染予防の上で、地元堺市民をフェニーチェ堺に呼び込み、もっと身近にクラシック音楽を感じてもらおうと、フェニーチェ堺と共同で企画しました。その第一弾、全3回シリーズは、2公演を開催(1公演は出演者の事情により中止)しました。

会場は、フェニーチェ堺施設内のあらゆる場所を想定、大ホール舞台の上に客席を設置した第2回目は特に好評を博しました。

2021年 1月19日(火) サクソフォン:須川展也 他 弦楽四重奏

会場:フェニーチェ堺 小ホール

2021年 2月22日(月) トロンボーン:阿部竜之介 ホルン:青木宏朗 他

会場:フェニーチェ堺 大ホール ステージ

2021年 3月27日(土) クラリネット:原田美英子 他 弦楽合奏(出演者事情により公演中止)

会場:フェニーチェ堺 大スタジオ

共催者:フェニーチェ堺

公益社団法人 大阪交響楽団

## (2)交響楽等の演奏

### 1)依頼公演(オーケストラ編成) 全53公演

オーケストラ編成の依頼公演、楽団収入の50%近くを占める

シンフォニーコンサート 12公演

ファミリーコンサート 21公演

合唱伴奏公演 0公演

学校鑑賞会 1公演

文化庁公演 10公演

オペラ・バレエ公演 6公演

収録・録音・配信公演 3公演

## 2) 依頼公演(小編成) 全19公演

弦楽四重奏や金管五重奏などの小編成の依頼公演

小編成 主催公演 3公演 (堺市アウトリーチ他)

小編成 共催公演 2公演 (フェニーチェ堺との共催)

小編成 依頼公演 14公演

## (3) 青少年に対する音楽普及

### 1) アウトリーチ公演(学校や街中へ出向いて行う事業) 全34公演

さかいミーツアート、さかいアートスタートプログラム 18公演

文化庁“文化芸術による子供育成総合事業”ワークショップ 4公演

その他 アウトリーチ公演 12公演

## (4) 機関誌及び音楽に関する出版物の刊行

### プログラムマガジンの発行

2020年 5・6・7月号	2020年 5月1日発行	5000部
2020年 8・9月号	2020年 8月1日発行	5100部
2020年 10・11月号	2020年10月1日発行	4400部
2020年 12月号	2020年12月1日発行	2650部
2021年 1・2月号	2021年 1月1日発行	3750部

## 事業報告の附属明細書

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」

第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が

存在しないので作成していません。